

いすみ 泉味 自慢

地産地消特集
2012

泉区でとれた農産物を食べよう！11月は「地産地消月間」

目次
1ページ……地産地消とは？／泉区の農産物はどこで買えるの？／地産地消に対する意識調査結果
2・3ページ……未来を担う子どもたちに泉区の「農」を伝える活動／泉区農業応援隊／よこはま地産地消サポート店
4ページ……泉区ファーマーズマーケット“ハマッ子”

いいコトいっぱい、地産地消

「地産地消」の「いいコト」を再発見！
ぜひ皆さんの食卓に「泉区産」の農産物を

鮮度 **「いいコト」**

新鮮な旬の農産物が、
身近で手に入る



安全 **「いいコト」**

生産者の顔が見え、
安心・安全



地域 **「いいコト」**

生産者と消費者の交流が、
地域を元気にする



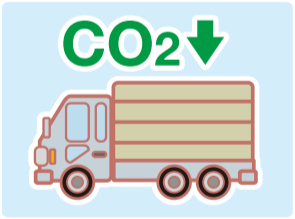
生産者 **「いいコト」**

消費者の声を聞き、
農家の生産意欲が高まる



環境 **「いいコト」**

農産物の運搬距離が短く、
CO₂の排出量削減に貢献



泉区マスコットキャラクター「いっすん」

近年、食品の安全や地球環境を守る意識から全国的に地産地消の取組が行われています。横浜市でも、平成十八年度から十一月を「地産地消月間」と定め、地産地消イベントや広報を実施しています。直売所が身近にある泉区で、ぜひ、地産地消を！

「地産地消」とは…… その土地でとれたものを、 その土地で消費すること

泉区産の農産物は、どこで買えるの？

身近にあります！「泉区産の農産物」の販売店。
新鮮な農産物を手に取ってみてください。

泉区ファーマーズマーケット“ハマッ子”



農産物常設直売所である泉区ファーマーズマーケット“ハマッ子”は野菜や果物だけでなく、花や加工品、卵も取り揃えています。

身近な直売所

区内生産者の庭先や畑では、数多くの直売所が設置されています。また、区内JA横浜の支店前の直売所でも購入でき、生産者との交流も持つことができます。



地域の店舗

地産地消コーナー



スーパーでも地産地消コーナーを設けているところもあり、普段の買い物と合わせて購入できます。

貴重な地域資源 泉区の農業

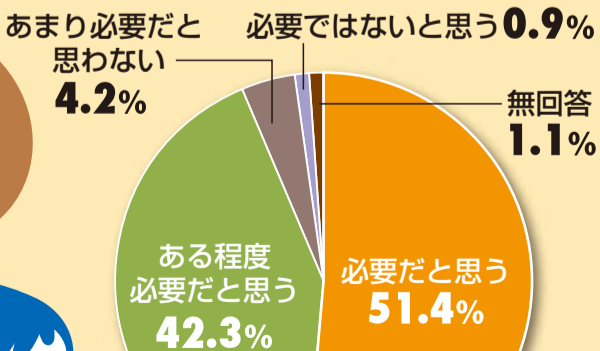
泉区は、経営耕地面積は市内第1位(約318ha)、農家数が第3位(461戸)と農業がとて盛んです。農業が貴重な地域資源のひとつとなっており、市民グループや福祉団体による農を通じた活動も活発に行われています。

アンケート◆泉区民の地産地消に対する意識は？【区民意識調査の結果から】

※平成24年7月実施。3,000人の区民を無作為抽出し、1,384人から回答を得ました。

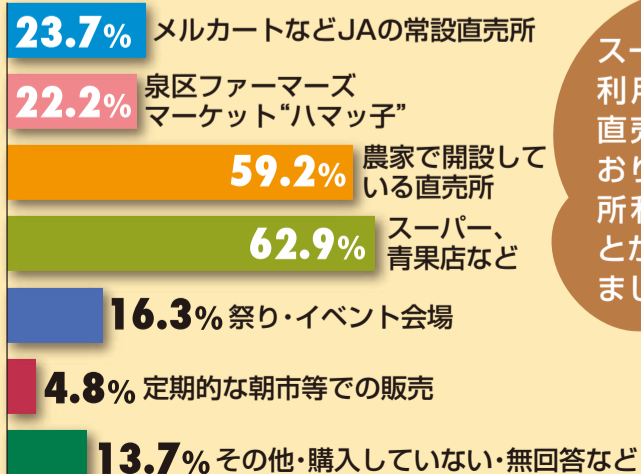
Q 日常生活の中で地産地消がどの程度必要だと思いますか

地産地消の必要性については、「必要だと思う」「ある程度必要だと思う」を合わせて9割を超えています。



(%については、小数点第2位を四捨五入)

Q 区内で生産された農産物は、どこで購入していますか (複数回答)



スーパー、青果店の利用と同じくらい直売所を利用しており、泉区民の直売所利用率が高いことが分かりました。



子どもたちと、地元の「農」をつなぎます

未来を担う子どもたちに泉区の「農」を伝える活動

学校給食に、市内産の野菜

区内の小中学校では、学校給食に市内産野菜を積極的に取り入れています

横浜市では『食』を通して、健康と豊かな人間性を育み、高めることを目的に食育の推進をしています。小中学校では給食の時間を活用し、正しい食生活や食の安全、地産地消などについての理解を深める機会を作っています。泉区内の小中学校で活躍する栄養士で組織する栄養職員研究部では、子どもたちに市内で生産された農産物を食べてもらいたいという思いから研修会を開き、給食への取り入れ方について研究をしています。



取材した西が岡小学校のこの日の献立は「なすの中華いため」。市内産のなすを、何と約450個も使っています。市内で採れた野菜であることを子どもたちに分かるように説明書きも添えています。



▲西が岡小学校の給食の様子。給食を作ってくれた方や生産者の方に感謝をこめて「いただきます!」と大きな声が聞こえました。

11月は「泉区ランチ」

毎年11月の地産地消月間に合わせ、泉区内の学校給食の取組として、**泉区産農産物**にこだわった「泉区ランチ」を提供しています。子どもたちは給食を食べるだけでなく、校内放送などで、食材の解説や農産物の旬、栄養について説明を聞き、「地場産農産物を食べる意味」を学んでいます。今年は、区内の多くの学校で10～11月にかけて区内産の「柿」が登場するとのこと。



▲昨年度の「泉区ランチ」で提供された泉区産のはまポークを使った豚の角煮丼



◀泉区内には、約6種類程度の柿の木が植えられています!

子どもたちに、農作業体験の機会

西が岡小学校の取組

貴重な農地が広がる泉区では、子どもたちが「農」にふれあう場にも恵まれています。区内の各学校では、農作業体験を通じた食育の取組を行っています。子どもたちは、実際に農作業を体験することで、野菜が育つ過程や大変さ、食べ物の大切さを学んでいます。

小学校から少し離れた中田町にある畑では、2年生のクラスがさつまいもを植えています。

植えつけは6月に行い、夏休み中にぐんぐんとつるが伸びて成長をしたようです。取材をした日は、さつまいも畑に生い茂っていた雑草を子どもたちが抜き取る作業をしていました。

作業の前に先生からさつまいもの成長について説明を聞き、さつまいもの苗を間違えて抜かないよう気をつけながら、元気いっぱいに雑草を抜いていました。生活科の時間の一環とあって、さつまいもの葉の形や成長度合もじっくりと観察。最後にみんなで「大きくなあれ」「大きくなあれ」と声をかけました。収穫は11月の予定、さつまいもが立派に育つのが楽しみです。



夏休みの間に、雑草がいっぱい増えたなあ。

▼学年全員で一斉に作業をしました。間違えて、さつまいもを抜かないように慎重にテキパキと。子どもたちの目は真剣そのものです。



子どもたちの頑張りでこんなにきれいになりました



泉区農業応援隊が活躍しています!!

泉区農業応援隊は、農に親しみながら、高齢化や担い手不足に悩む泉区等の農家の農作業支援を行うことを目的に活動しているボランティア団体です。農業支援のボランティアに興味がある方は、下記までお気軽にご連絡ください。

泉区農業応援隊事務局(泉区区政推進課内) TEL.800-2331



▲オクラ、ピーマンの収穫の様子

◀日々、お手伝いをしている畑をバックに農家さんと応援隊員で

もっと気軽に地産地消「よこはま地産地消サポート店」

地元の農産物を地元の飲食店でご提供。ぜひ足を運んでみてください。

「よこはま地産地消サポート店」とは？

横浜市では地産地消を進めるために、市内産の農畜産物を使ったメニューを提供する飲食店等を募集し、「よこはま地産地消サポート店」として登録、市のホームページでPRしており、市内77店が登録しています。(平成24年9月末時点)

泉区内の登録店舗(10店舗)

◆弁当・惣菜 いろいろ
弁当・惣菜 彩

所 和泉町3857-10-103
TEL 805-0020
営 10時～20時
(土曜日のみ19時)
休 日曜・祭日
P 1台

彩弁当
1,050円～
(バージョンアップ可能)



◆パン
パン工房 Baby leaf

所 中田東1-23-11
(踊場駅徒歩3分)
TEL 803-9871
営 9時～18時30時
休 水・木・金・土曜
P 3台

バターブレッド
270円



◆アイス・ジェラート
横濱アイス工房 ゆめが丘店

所 和泉町982-1
(下飯田駅徒歩10分)
TEL 800-5353
営 11時～17時
休 月曜
P 15台

紫いものジェラート
300円



◆居酒屋
うず潮 小川

所 和泉町5735-14
(いずみ野駅徒歩1分)
TEL 803-8828
営 17時～23時
※ランチ予約制
休 水曜

出し巻き玉子
700円



◆居酒屋
おさかな広場

所 新橋町1177-1(弥生台駅・緑園都市駅より徒歩10分)
TEL 812-7111
営 17時～23時
休 月曜
P 2台

地場大根の和え物と秋刀魚のメンチカツ
580円



◆そば・定食
そば処 宮島

所 和泉町4636-2区役所4F
(いずみ中央駅徒歩3分)
TEL 800-2523
営 11時～15時
休 土曜・日曜・祝日

豚しゃぶとたっぷり野菜のおろしあんかけ
700円
(メニューは日替わりです)



◆喫茶店
珈琲園

所 弥生台26-5(弥生台駅徒歩2分)
TEL 812-3131
営 10時～19時(月水金土は21時まで営業)
休 第3火曜日
P 2台

はまぼーくとエリンギの黒ゴマパスタ
890円



◆洋菓子
フランス菓子 ラフォンティエヌ

所 和泉町3701
(いずみ中央駅徒歩4分)
TEL 0120-554-014
営 10時～20時
休 第3水曜、元日
P 有

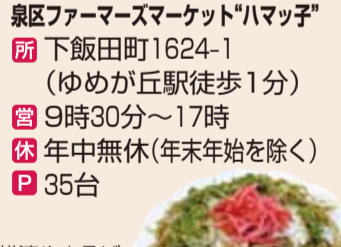
かぼ無のアミューズ
378円



◆軽食
グラウンドキッチン あすか

泉区ファーマーズマーケット「ハマツ子」内で販売中
★販売日…金・土・日・月曜日
泉区ファーマーズマーケット「ハマツ子」
所 下飯田町1624-1
(ゆめが丘駅徒歩1分)
営 9時30分～17時
休 年中無休(年末年始を除く)
P 35台

横濱やきそば
300円



所 住所 TEL 電話番号 営 営業時間 休 定休日 P 駐車場

「よこはま地産地消サポート店」に登録するには？

「よこはま地産地消サポート店」の対象

横浜市内で食品衛生法の飲食店営業等の必要な許可を受けている料理店、一般食堂、レストラン、仕出し屋、総菜屋、弁当屋、農産加工業者



登録の要件

- ◆所在地が横浜市内にあり、横浜市の地産地消の趣旨に賛同し、市内産の農畜産物を活用していること
- ◆推薦者(生産者、出荷組合、農協、市場、仲卸業者)の推薦書の提出があること
- ◆市内産農畜産物を活用していることを店頭やメニューに表示していること

サポート店の役割

- ◆市内産農産物を積極的に活用し、市民にその良さを紹介し、地産地消の推進に努めます

登録手続き

登録については、

環境創造局農業振興課
TEL.045-671-2639

にご相談ください

登録店への支援策

横浜市のホームページ「横浜で地産地消」情報サイト、「はまふうどナビ」等の情報誌に掲載してPRします

はまふうどナビには市内の地産地消情報が掲載されています。



「よこはま地産地消サポート店」新規参加店舗のご紹介 菜々遊亭 みわ (さいさいゆうてい みわ)

和泉川沿いの住宅地にひっそりたたずむ隠れ家のようなお店。女性オーナーが一人で全てを手がける「菜々遊亭みわ」では、手入れの届いた庭を眺めながら落ち着いた時間を過ごすことができます。また、旅行好きのオーナーが集めた品々がインテリアとして光っています。月別に変わるメニューには、オーナーの陶芸の器に盛りつけられた地元の野菜にこだわったコース料理が並びます。オーナーの愛する「ふるさと」を感じることができる渾身の料理が待っています。

地産地消にこだわったコース料理(イメージ)▶



所 和泉町1258 TEL 804-6663
営 17時30分～22時(予約制)
休 火曜・第1,3月曜 席18席 P4台
URL <http://www.ric.hi-ho.ne.jp/miwama38/index.html>

行くたび、新鮮。人と農産物の味な交流

泉区ファーマーズマーケット“ハマッ子”



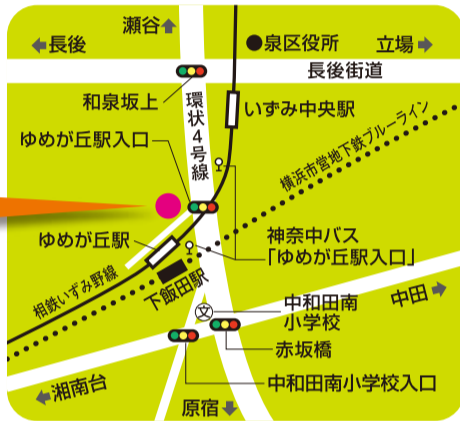
ご来店お待ちしております

環状4号線沿い
相鉄いずみ野線
ゆめが丘駅前

泉区ファーマーズマーケット
“ハマッ子”

泉区下飯田町1624-1
TEL 803-9272
FAX 803-9261

泉区ファーマーズマーケット
“ハマッ子” 安齋店長



営業時間 午前9時30分～午後5時 年中無休(年末年始を除く)

駐車場 35台

泉区産の旬の農産物がいっぱい!

秋から冬にかけては葉物野菜や根菜類が中心です



秋から冬にかけての野菜は、食物繊維が多い根菜類や免疫力を高めてくれる野菜が多くお店に並びます。寒くなる季節には、体が温まる鍋などに野菜をたくさん取り入れてみましょう!

泉区役所と横浜農業協同組合との協働により開設された常設直売所、泉区ファーマーズマーケット“ハマッ子”では、泉区内で生産された、とれたて・新鮮な農産物を中心に販売しています。トマトやピーマン、キャベツなどおなじみの農産物だけでなく、各農家が工夫をこらして生産しているめずらしい品種の野菜なども並びます。ちょっと変わった野菜の売り場には、その味をより楽しめるレシピが置いてあることも。この機会に、めずらしい野菜の調理にチャレンジしてみるのもおすすめです。

◆スイスチャード

スイスチャードは、ほうれん草に似た葉菜で、和名では不断草と呼ばれています。日本では、沖縄で冬野菜として多く栽培されています。特徴は、鮮やかな葉軸! 赤、黄、紫、白などの色彩を放ち、シャキシャキした食感があります。まだまだ知名度は高くない野菜ですが、天ぷらや炒めもの、パスタやグラタンなどに最適です。



“ハマッ子”で
見つけた
めずらしい
野菜!!

◆空心菜

最近、色々な料理で取り入れられている空心菜。東南アジアで多く栽培されていますが、横浜でも栽培している農家が見られます。炒め物の中華料理やエスニック料理に利用されますがお味噌汁の具や天ぷらなど和風にもアレンジできます。



◆白菜のめき菜



めき菜とは、野菜を大きく栄養たっぷりに育てるために行う「間引き」の際に抜かれた成長途中の葉のことです。スーパーでは、成熟した白菜が販売されていますが、農家が直接持ち込む直売所では、時々見かけます。青々とした葉は、和え物や浅漬けにすると美味しいです。

◆レッドムーン

見た目は、普通のじゃがいもですが、中味はまるでさつまいものような黄色が特徴。茎が丈夫なため、機械での収穫が難しく、手作業での収穫がメイン。そのため個数が少なく、市場に出回らないため、直売所ならではのじゃがいもです。味はとて甘く、肉じゃがやカレーなどにぴったりです。

